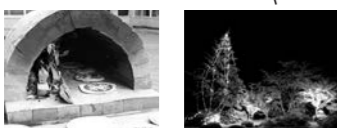


## 地域活動専門員日誌

### ピザ釜完成！ クリスマスを楽しもう



手作りピザの完成を祝う子どもたち



小友地区センター  
小笠原俊裕さん

地域の地域おこしグループ「ゆめまち会」は11月30日、自作したピザ釜のオープンイベントを行いました。小友児童クラブの子どもや市内の若者など30人が参加。手作りピザを囲んでのパーティーや、クリスマスリース作りなどを行い、一足早いクリスマスを楽しみました。また、小友農村公園にイルミネーションも飾り付け、小友の夜を彩りました。

## みらい創りカレッジ通信

### パワーアップ工事中！

遠野みらい創りカレッジでは現在、参加者がより快適に各種講座やイベントに参加できるよう、改修工事を行っています。休憩スペースの増設やトイレの水洗化などを実施し、2月までに工事を終了する予定です。

たくさんの方にみらい創りカレッジに参加頂けるよう、環境の整備やカリキュラムの充実を図っていきますので、本年もよろしくお祈りします！

さらにパワーアップ



合唱隊 → 明るく元気な歌声を会場に響かせました



バレエ ↑ 多彩に舞う生徒たち

### 華麗な歌と舞が今年も！

合唱とバレエの発表会開催

遠野少年少女合唱隊第25回発表会は11月15日、あえりあ遠野中ホールで、市民センターバレエスタジオによる第37回発表会は11月23日、市民センターでそれぞれ行われました。合唱発表会では、5歳から中学生までの16人の隊員がわらべうたやアニメソングなど28曲を発表。訪れた120人はその澄み切った美しい歌声とハーモニーに酔いしれました。バレエ発表会では、36人の団員がフランスで作られたバレエの有名作品「パキータ」など17作品を堂々と披露。訪れた500人は同生徒の優雅な舞と息の合った華麗な演技に魅了されました。



- 1\_ 日頃の練習の成果を堂々と発表する山合獅子踊り(小友町)の演者たち
- 2\_ 外山神楽(小友町)
- 3\_ 氷口御祝(小友町)
- 4\_ 中斉百姓踊り(宮守町)



### 郷土の魅力を伝え続ける

郷土芸能共演会開催

第5回遠野市郷土芸能共演会(市郷土芸能協議会主催)は11月30日、みやもりホールで開催されました。伝承活動の推進を目的に行われるこの催しには、市内8団体から150人が出演し、日頃の継承活動の成果を披露。市内外から訪れた200人は、しし踊りや神楽などの郷土芸能を堪能しました。ステージで次々と多彩な演目が繰り広げられると、会場からは大きな拍手が送られました。佐々木國允会長は「郷土芸能は知識だけではなく創造力を育むことができる。これからも伝承活動のさらなる発展のために、郷土芸能の魅力を発信し続けたい」と力強く意気込みました。

### 全国レベルの演舞を披露

遠野一輪車クラブ発表会

遠野一輪車クラブスポーツ少年団による発表会「一輪車の風」は12月7日、市民センター大ホールで開催されました。

同少年団は今年度、一輪車競技の全国大会で個人・団体4部門で入賞するなど大活躍。発表会では、各種大会で披露した演目などをソロ、ペア、グループに分かれ堂々と披露しました。スピンやコンビネーション技などが華麗に決まると、観客席からは盛大な拍手が送られました。リーダーの脇山夏奈さんと菊池悠季さん(いずれも遠野高2)は、「活動をしてくれる家族や地域の人に感謝を込めて舞台に臨みました。全国の頂点をめざし、今後も笑顔と勢いのある遠野らしい演技に磨きをかけていきたいです」と抱負を語りました。



1・2・3\_ソロ・ペア・グループで全国トップレベルの華麗な演舞を披露する団員 4\_一輪車を始めて間もない子どもも元気に参加 5\_2014さわやか全日本一輪車競技大会で準優勝に輝いたサルトによる群舞は圧巻でした



### 困ったシカには広域で！

シカ被害対策検討会開催

二ホンシカによる被害の対応策を広域で探るシカ被害対策検討会(県南広域振興局主催)は12月2日、あえりあ遠野で初開催されました。同検討会には、本市と県南・沿岸の両広域振興局の担当者ら30人が参加。被害の現状や対策などについて意見交換を行いました。さらに、市は対策強化案として、人と予算を集約した広域体制の構築や捕獲したシカを処分する焼却炉の整備、シカの行動特性を研究した捕獲対策案を提言。鈴木茂県南広域振興局農政部長は「広域連携の第一歩として協力体制を築き、さらなる効果的な対策を探っていきたい」と理解を示しました。



被害の現状と対策について検討する参加者



修理が完了し、輝きが増した旧菊池家住宅前での餅まき

### 旧菊池家住宅の修理完了

伝承園で祝賀イベント開催

土淵町の伝承園内にある、国の重要文化財・旧菊池家住宅の茅葺き屋根修理工事の完了を祝うイベント(遠野ふるさと公社主催)は12月7日、同所で行われました。

市関係者や伝承園の職員、地域住民ら100人が参加。工事後の安全と千客万来を祈る神事やテープカット、餅まきなどが行われ、参加者は同住宅を活用した観光振興と地域活性化に期待を寄せました。茅葺き屋根の腐食が進んでいたことから、平成26年7月、36年ぶりとなる全面葺き替え工事に着手。総事業費は約4300万円で、(株)菊池栄工務店(菊池榮喜代表取締役社長)などが修理を手掛けました。